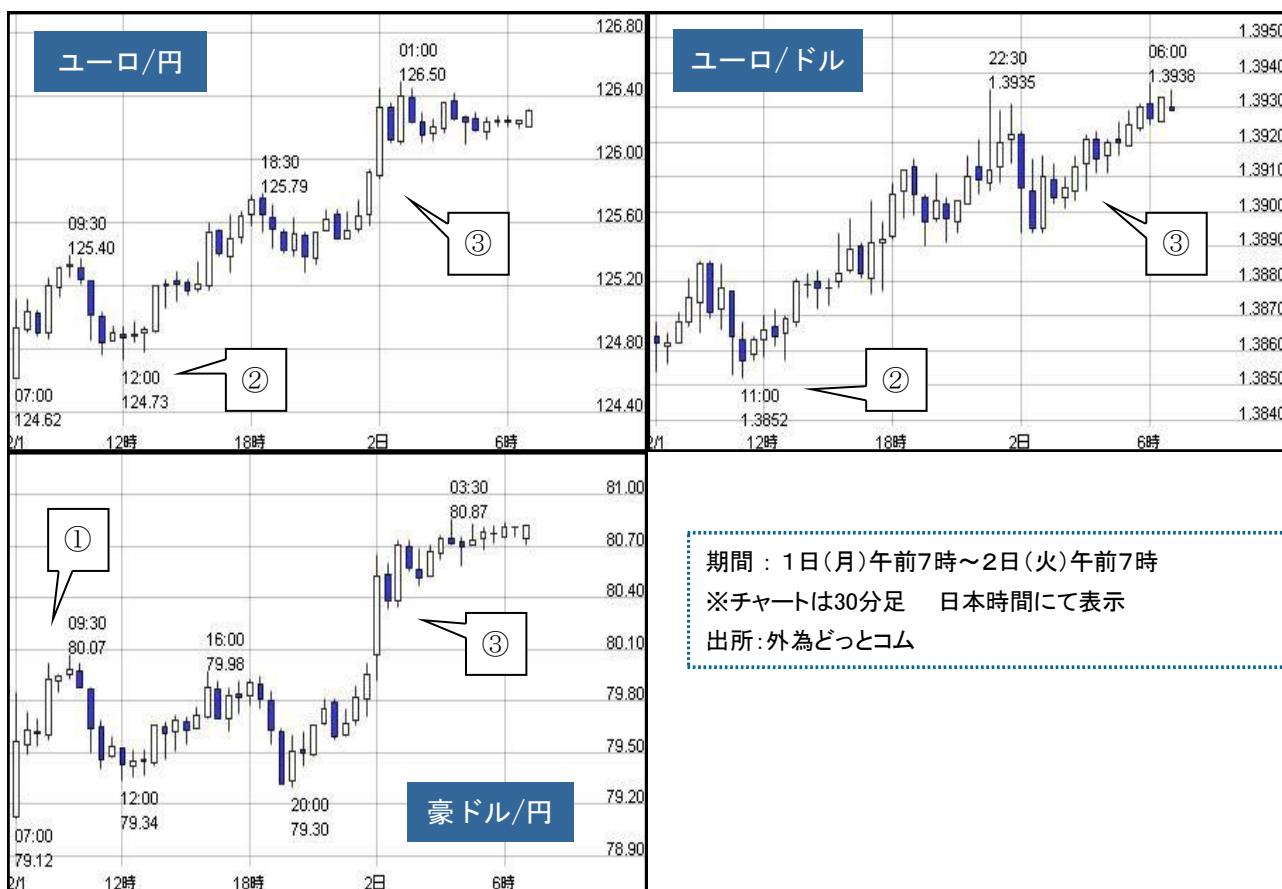


2月2日(火曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

豪準備銀行(RBA)の動向に注目

1日(月)の主な推移



期間：1日(月)午前7時～2日(火)午前7時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 週末の豪紙で、2日の利上げが見送られる可能性を指摘した記事により、豪ドル/円は 79.12 円の安値での取引開始となったが、その後日経平均株価が小じっかりで寄り付いた事や、豪第4四半期の住宅価格指数が+5.2%と、予想を上回った事から 80.07 円まで上昇した。
- ② 日経平均株価が先週末比でマイナス圏に沈んだ事や、上海総合株価指数の下落から、リスク回避の動きを強め、ユーロ/円が下落すると、これにつれてユーロ/ドルは 09 年 7 月 以来となる 1.3852 ドルまで下落した。
- ③ 1 月米 ISM 製造業景況指数が予想を上回る 58.4 となったことや、オバマ大統領の予算教書で、1000 億ドルの景気対策が発表されたことを好感し、NYダウ平均株価が 100 ドル超の値上がりとなると、リスクを取ることに積極的となる動きが強まり、ユーロや豪ドルがドルや円に対して上昇した。原油や金などの国際商品価格の上昇もユーロや豪ドルの支えとなった。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3800-1.4020ドル
ユーロ/円 : 124.80-127.50円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 78.80-82.30円

昨日の欧米市場では、米国の経済指標の好結果もあって、リスク回避の動きは一旦後退し、ユーロは、ドルや円に対して上昇したが、ギリシャの財政懸念などユーロが抱える根本的な問題が解決された訳ではなく、本格的な反転は期待しづらい。引き続き、各国の株価や国際商品価格の動向につれての動きが中心となりそうだが、ユーロ/円、ユーロ/ドルともに、戻り売り圧力は強そうで、4日のECB(欧州中央銀行)理事会や5日の米雇用統計を前に、大きく上昇する可能性は低そうだ。

本日の最大の注目点は、豪準備銀行(RBA)による政策金利の発表となる。0.25%の利上げが有力視されるものの、一部には利上げ見送りを予想する声もあり、その発表と声明文に注目が集まる。昨日のNY株の上昇や国際商品価格の反発から、リスク回避ムードは一旦後退しており、利上げとなれば、豪ドル/円は一段高となる場面がありそうだ。ただ、仮に利上げとなった場合でも、声明文の内容には注目で、次回以降の利上げのペースダウンを示唆する内容であれば、豪ドル/円の上昇は限定的なものにとどまるだろう。

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/2(火)	12:30	◎	(豪) RBA キャッシュターゲット	3.75%	4.00%
	16:00	○	(独) 12月小売売上高指数 [前月比]	-1.1%	+0.9%
		○	(独) 12月小売売上高指数 [前年比]	-2.8%	-2.5%
	19:00		(ユーロ圏) 12月生産者物価指数 [前年比]	-4.4%	-3.0%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。